

夏季に行われる県ソフトテニス大会に関わる熱中症予防対策

山梨県小中学校体育連盟ソフトテニス専門部

I 【大会において】 選手、応援、監督、観客、全ての方の生命・安全が第一です。

①当日の天気により、**ヒートルールや特別ルール（給水できる回数を増やす。チェンジサイズの時間を延長、シャツ出しを認める等）の適用**を行います。その場合は、監督会議や開会式（開始式）の中で周知します。

②試合が連続になるときや、当日の天気次第では、**一定時間の休憩をはさむなどの進行**にしていきます。**また、暑くなる時間帯を避けるために、一斉休憩をとります**。場合によっては、2時間以上の休憩時間をとる場合もあります。

③審判員・競技役員のための**水分を確保**します。審判ができるだけ連続にならないように、**休憩時間を入れていきます**。審判・競技役員のための**日陰で休める場所を確保**します。

③**水分をこまめに補給し、水分不足にならないように、多めの水分を持参する**ように事前に各チームで指導していただきます。また、クーラーボックス等の持参や、飲み物を凍らせておくなどの工夫や、塩分を含む水分や、スポーツドリンクなどを準備することをお願いしていただきます。

④選手、応援、観客の**帽子の着用を徹底**します。帽子の着用がない生徒については、タオル等で頭・首付近を覆うように指導します。

⑤**放送による注意喚起**（水分補給、日陰での休憩、帽子の着用など）をこまめに行います。

⑥**各チームで、できるだけテント**を持ってきていただき、**休憩は、屋根の下や各チームで準備したテントなど日陰の場所**など、体温を下げる効果のある場所で行うように呼びかけを行います。**テントの設置場所は、石和中央テニスコート使用時は南側（石和中側）スタンド（支部割り当て有り）と、コート駐車場の西側**を設置可能場所（支部割り当て無し）とします。**本部で指定**します。

※石和中央テニスコートは今年度改修工事が終わり新しくなりました。中央スタンドは斜めの坂ではなく、段差がついたアスファルトになり、テントは立てやすくなっているのですが、アスファルトなのでとても熱くなることが予想されます。ブルーシートを敷くなどして対策をしながら使用をしていただければと思います。



⑦**県総体が行われる小瀬スポーツ公園テニス場では、テントはコートのある敷地外の芝生スペースなどに限定**をして使用するようにして下さい。詳細は本部で指定します。

⑧引率生徒に、**各チームでもこまめに注意喚起**（水分補給、日陰での休憩、帽子の着用など）をしてもらえるようお願いしていただきます。**体調不良が生じた場合には、救護室（管理棟2階会議室）の場所を利用**できるようにしていきます。

⑨ベンチでの**日傘の使用**、チェンジサイズ時の「**うちわ**」や「**せんす**」の使用を認めます。

⑩**WBGT値を測定する熱中症指標計**を準備しデータの確認をしていきます。

⑪**環境省熱中症予防情報サイト等よりデータの収集**と今後の予測の確認を、定期的に確認します。

⑫体調の悪い方や、救護室を利用する方のための、**補水液・スポーツドリンク、氷等の準備**を、**当日大会本部で準備**します。

II 【救護体制について】 緊急時には即時の判断・対応が一番です。

- ①大会前における専門部と救護役員（看護師等）との綿密な打ち合わせを、専門部長、専門委員長が中心となり行います。
- ②緊急時には、救護役員（看護師等）、専門部長、委員長の即時の判断で救急車をすぐに呼ぶようにします。
また、具合が悪くなった生徒は、各チームの顧問の先生に連絡をし、保護者に迎えに来ていただくような対応をしていきます。
- ③近隣の救急病院は、各会場により異なります。 笛吹中央病院。
笛吹市石和町四日市場47-1 TEL 055-262-2185
- ④救護用品の準備と確認は、養護教諭と事前に連絡を取り、委員長が用意します。
例年、養護教諭の先生方に持参していただき、使ったものを現物で返しています。
補水液・スポーツドリンク、氷等の準備は、当日大会本部で準備します。
- ⑤石和中央テニスコート使用時は、救護室を、エアコンの効いた管理棟2Fに設置し、養護教諭を配置します。小瀬スポーツ公園テニス場使用時は本部が指定された位置で救護室を設定します。ブルーシート2枚、アルミマット5枚、クーラーボックス1つ
- ⑥大会前より、各チームの顧問の先生方・指導者は必ず生徒全員の健康観察を実施し、大会当日、大会本部へ報告を行う。
出発前に健康観察を行い、少しでも体調の気になる生徒は連れて来ないようにする。
大会受付時、健康観察の状況を口頭で確認（引率教員数、生徒数、健康状態）する。
その後も、顧問の先生・指導者には、定期的に健康観察を行っていただく。
- ⑦顧問が監督や審判としてベンチ等に入ることになるので、可能な限り2名以上の付き添いや、応援生徒数を少なくする、1年生は連れてこない等の工夫をする。
- ⑧救護日誌を専門部で作成し、看護師の方等につけていただく。
救護室を利用した場合には、その学校の顧問の先生に必ず、利用していることが伝わるようにする。